

戦 評

大会名 第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会 岩手県予選会

男子・決勝

会場名：花巻市総合体育館アネックス

主 審：佐々木 泰幸

副 審：戸羽 太一

試合結果

一関修紅 3 $\left\{ \begin{array}{l} 25-19 \\ 25-19 \\ 19-25 \\ 25-13 \\ - \end{array} \right\}$ 1 不来方

戦 評 試合時間 1時間 29分

第1・2セットは昨年の覇者一関修紅が高いブロックで不来方の攻撃を防ぎ、速攻とレフト攻撃から得点を重ね連取する。

続く第3セット後のない不来方は、8番セッター堀籠の多彩なトスワークから反撃を図り中盤まで一進一退の攻防が続くも、11番リベロ金子の堅守から1番石ヶ森の強烈なスパイクが決まりだしこのセットを奪取する。

しかし第4セットは、一関修紅4番西村、6番仲村の両レフトが確実に得点を重ね徐々に点差を広げ、さらに1番今野、3番笹川の高さのあるブロックで不来方の攻撃を封じ込め、このセットを取り2年連続の優勝を飾った。

※ 7～10行にまとめること。

戦評者：塩井和幸

岩手県バレーボール協会